

地域計画に係る担い手との検討会を開催

～持続的な産地の維持、発展を目指して～

千葉農業事務所改良普及課 令和7年2月21日発

農業事務所と関係機関は、姉崎蔬菜組合員14名を対象に持続的なだいこん産地の維持発展に向けて、後継者の有無や耕作状況等についてアンケートを実施し、現況ほ場図を作成しました。それを受け1月に検討会を行い、担い手9名を含む15名が出席しました。

検討会では、農業事務所からアンケート結果を報告し、今後栽培面積の減少が予想されるため、農地の効率的な利用や新規組合員の受入れの検討を呼びかけました。市原市から地域計画について説明後、今後の営農意向や営農規模及び地区について話し合いました。担い手からは、後継者への事業承継見込み、農地貸借に係る説明の難しさ等について意見が出され、地域の営農ビジョンについて、継続して検討していくことが合意されました。

今後も関係機関や専門家と連携し、持続的なだいこん産地の維持発展へ向け、担い手と共に取組んでいきます。



アンケート結果の報告